

日韓学術文化交流事業訪韓団 派遣事業の記録

1. プログラム概要

【目的】日本全国から選抜された教育関係者を派遣し、教育現場をはじめとする各種視察、関連講義聴講、関係者との懇談等を通じて、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】日本の教育関係者 49 名

【訪問地】訪韓（ソウル特別市、京畿道城南市・坡州市 49 名）

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

7 月 20 日（土） オリエンテーション（プログラム説明）

【交流】日韓学術文化交流事業訪日団参加者とのオンライン意見交換会

■ 派遣プログラム:

8 月 18 日（日） 仁川国際空港より入国

8 月 19 日（月） 歓迎式

【講義聴講】「韓国の教育制度と現状」、【視察】韓国民俗村、ロッテタワー展望台

8 月 20 日（火） 【視察】烏頭山統一展望台、京畿未来教育坡州キャンパス、昌慶宮、国会議事堂、国会博物館

8 月 21 日（水） 【講義聴講】「韓国の文化と日本の文化」、【学校訪問】漢陽大学、【視察】リウム美術館

8 月 22 日（木） 【学校訪問・交流】ソウル吉元初等学校（模擬授業、給食体験含む）

【文化体験】南山韓屋村 韓紙燈籠づくり、【視察】仁寺洞

8 月 23 日（金） 【学校訪問・交流】培花女子高等学校（模擬授業、学食体験含む）、成果報告会

8 月 24 日（土） 仁川国際空港より出国

2. 記録写真

	
2024 年 8 月 19 日【講義聴講】 「韓国の教育制度と現状」	2024 年 8 月 20 日【視察】烏頭山統一展望台

	
2024 年 8 月 20 日【視察】国会議事堂	2024 年 8 月 21 日【講義聴講】 「韓国の文化と日本の文化」
	
2024 年 8 月 21 日【学校訪問】漢陽大学 (討論「私が考える日韓両国の文化的差異」)	2024 年 8 月 22 日【学校訪問・交流】 ソウル吉元初等学校 (模擬授業、給食体験含む)
	
2024 年 8 月 22 日【文化体験】 南山韓屋村 韓紙燈籠づくり	2024 年 8 月 23 日【学校訪問・交流】 培花女子高等学校 (模擬授業、学食体験含む)

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 日本 教員

日本の教員による模擬授業の中で、実際に韓国の児童と教員間で対話が成立し、学びの姿が見られたことがよかったです。七夕の短冊の話をしている最中に、児童が「願い」について思いを馳せ、自分の言葉を探し表現しました。彼の著者性を引き出したのは日本の教員であり、模擬授業であり、彼の日常でもあります。「日本の先生が来る！」というコンテンツではなく、そこに学びが成立したことに驚きを隠せませんでした。

◆ 日本 教員

烏頭山統一展望台では、韓国と北朝鮮の近くて遠い関係を肌で感じられることができました。

◆ 日本 教員

韓国の小学校および高校の視察に関して、日本との学習環境の違いや生徒の主体性を感じることができました。互いに大切にしている教養（立ち振る舞い、礼儀作法、おもいやりの心）を尊重し、リーダーシップが取れる人材の育成が大切であると、改めて実感することができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ イ・ヨンフン啓明大学講義教授（講義講師）

昔の日本と韓国は、現在よりもはるかに多くの交流を行い、身近な国でした。両国間では数多くの教育交流や文化交流が行われ、葛藤よりも友好と親善を重視しました。今回の学術文化交流は、このような過去の歴史の継承であり、未来志向的だと思います。そのような重要な交流プログラムで韓国の教育を紹介し、両国間のさらなる発展について思いを巡らせる機会を持てたことに、大きな喜びを感じています。両国の教育者が後世により一層友好的な教育を行うことで、将来的には日本と韓国がさらに協力して交流する関係になることを願っています。

◆ ソウル吉元小学校

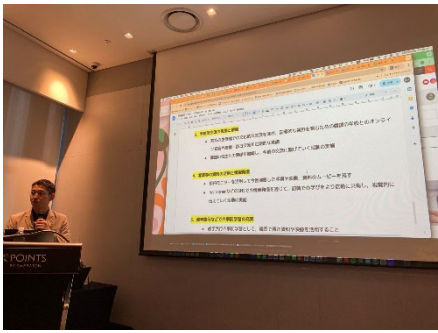
本校の教職員や全校児童は、日本の教員の本校訪問に胸を躍らせました。7～8月にかけて、校長が校内放送で日本文化について紹介しました。その成果もあり、日本の教員を迎える本校の児童たちの態度は大変明るく、元気よく日本語で挨拶もしました。その姿を見て、日本の教員の方々は「韓国の児童はエネルギーに満ちあふれている」と話していました。また、プログラミング教育、3Dペン教育、スマート教育等、本校児童の様々な授業を見学し、褒めてくださいました。本校訪問が韓国の初等教育を理解する良い時間になったことを願います。今後も本事業が継続的に実施され、日本と韓国が互いによく理解し合う近い国に発展していくことを願っています。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 ♡ 1 Q ▼ が「いいね！」しました 小学生5年生の授業を参観。日本の小学校の先生が授業をしてくださいました。流暢な韓国語にびっくり。小学生は韓国語と日本語の違いを楽しみながら勉強していました。 #日韓学術文化交流事業訪韓団	 ♡ Q ▼ 日韓文化交流でのプログラムに小学校訪問があり、ソウルのギルウォン小学校にお邪魔しました🇰🇷 各学年8クラス以上あるマンモス校だったけど、子どもたちは素直で元気で礼儀正しくていい子たちばかり！みんな日本語で歓迎してくれて嬉しい became 🥰🌟学校の施設も特別支援の教室にアスレチックがあったり3D作成の部屋があったりと教育の質の高さを感じました。 日本も韓国も子どもは基本変わらないことが分かり平和のために国際的なアプローチを小学校からすることが大切なんだーと！また2学期からがんばる🥰
2024年8月22日（Instagram） 小学5年生の授業を参観。日本の小学校の先生が模擬授業をしました。流ちょうな韓国語に驚きま	2024年8月22日（Instagram） （前略）日本も韓国も子どもは基本的には変わらないことがわかり、小学校の頃から平和のために

した。小学生は韓国語と日本語の違いを楽しみながら勉強していました。	国際的なアプローチを行うことが大切だと思います。
2024教員訪韓団に参加しました。様々な研修や体験を通して、韓国のことを深く知ることができました。特に小学校・高校に行き、授業参観をしたり、韓国の教員と交流したりするなかで、日韓の教育の考えの違いを感じることができました。ICT機器などの学校設備がとても整っていて、教育に力を入れていることが伝わってきました。海外に出ると、日本の教育についてもよく見えてきました。また、同じような海外研修プログラムがあれば、積極的に参加したいです！ 	
2024年8月24日（Facebook） （前略）小学校や高校を訪問し、授業を参観したり、韓国の教員と交流したりする中で、日韓の教育に対する考えの違いを感じることができました。海外に出ると、日本の教育についてもよく見えてきました。	2024年9月10日（統一日報デジタル版） 「多彩な参加型イベント 日韓文化交流基金が開催」当基金が今夏に実施した参加型の青少年交流事業の一環として、日本の教員らが訪韓したについて触れ、韓国の学生と交流したことについて紹介。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（概要または抜粋を記載する）

	
【成果の発表】 ・日本と韓国の教育や文化の違いを理解することができ、国際理解の重要性を再認識しました。 ・小学校では教員以外の職員の多さやボランティアの高齢者の関わり等が印象的で、「地域で子どもを育てる」という意識が高いと感じました。 ・韓国の学校では自由な学習環境があり、自主性や創造性が育まれている一方、社会的には大学入試や就職の競争が非常に激しく、教育の自由さと社会の厳しさが共存していると感じました。	【成果の発表】 ・学校訪問時、児童が日本語で挨拶してくれる姿から、相手国への歩み寄りや個と個の友好的な関係性を感じました。 ・海外を訪問すると、私自身が日本について知らないことが多いと感じたため、異文化理解とともに、日本に対する理解を深めたいと思いました。 ・学校訪問時の模擬授業を通じて、日本も韓国も生徒の反応や意見の本質は同じであり、両国の未来志向的な共存可能性を感じました。

【アクション・プラン】 ・訪韓で得た経験や知見を校内の教職員と共有するため、研修を実施します。 ・日韓の生徒間での文化的な交流を深め、国際的な視野を育むために、韓国の学校とのオンライン交流や訪日・訪韓交流を定期的実施します。 ・校内モニターを活用して、今回撮影した写真、映像や資料の動画を流すとともに、SNSでの情報発信を通じて、訪韓での学びをより広範に共有し、視覚的に伝えていく活動を実施します。	【アクション・プラン】 ・日韓両国の教員間のつながりを維持し、児童や生徒同士の交流につなげていきます。 ・韓国の教員と共に、共同授業研究等を通じて、互いに成長していきます。 ・本事業を周知していくことで、「韓国と仲良くなりたい」という気持ちを循環させ、日韓交流につなげていきます。
--	---

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金